



- ◆ 第1例会 6月2日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル 5C会議室  
司会:大澤 泉 記録:梶田明宏 出席 20名(+Zoom13名)  
動画記録: <https://www.youtube.com/watch?v=PGv4EO5JfSY>

### 1. 会員による発表

- |            |                       |    |
|------------|-----------------------|----|
| 1) 森田 晃 君  | MMTP 出品のマジック          | 3頁 |
| 2) 高橋 忠利 君 | 「83歳の人生を振り返って」マジック数題  | 5頁 |
| 3) 蔵原 克治 君 | 最近ショップで購入したマジック       | 7頁 |
| 4) 田澤 利明 君 | 「ロープとハンカチ」を使った楽しいマジック | 8頁 |

### 2. 連絡報告

- 土曜研修の案内 研修企画・運営委員会 柏木直也委員長代行  
家族会発表会の結果について 村上大会委員長ほか 10頁

- ◆ 第2例会 6月16日(木) 18:00~20:00 田中田村町ビル 5C会議室  
司会:大澤 泉 記録:梶田明宏 出席 20名(+Zoom9名)  
録画記録: <https://youtu.be/sGh9R8vt-PA>

### 1. 会員による発表

- |            |                    |     |
|------------|--------------------|-----|
| 1) 森田 晃 君  | MMTP 出品のマジック       | 13頁 |
| 2) 高橋 哲夫 君 | 家族会の反省と魔方陣マジック     | 15頁 |
| 3) 高橋 忠利 君 | BMW(ボケない、持てる、若返る)  | 17頁 |
| 4) 柏木直也 君  | テンヨーシリーズ「シルクセレナーデ」 | 19頁 |

### 2. 連絡報告

- 7月以降の例会発表者募集について 梶田総務委員長

- ◆ 土曜研修 6月11日(土) 13:30~17:00 電巧社ヘッドオフィス2階 Mシアター  
22頁
- |  |           |      |
|--|-----------|------|
| 1) Cone と Coin のファンタジー   | 講師: 氣賀康夫君 | 巻末別紙 |
| 動画 <a href="https://youtu.be/MMTEr2aeX_8">https://youtu.be/MMTEr2aeX_8</a> |           |      |
| 2) Bob Hummer の原理「CATO」を極める  | 講師: 柏木直也君 | 23頁  |
| 動画 <a href="https://youtu.be/XzxORUW3voY">https://youtu.be/XzxORUW3voY</a> |           |      |

## 会員による発表

### ◆ MMTP 出品のマジック

森田 晃 君

<https://youtu.be/PGv4E05JfSY?t=76>

今回も森田の作品を幾つか紹介した。まずは現在開催中のMMTPに出品している物を3件。

#### 1. 「シュパード・ボックス・イリュージョン(クッキーの箱)」

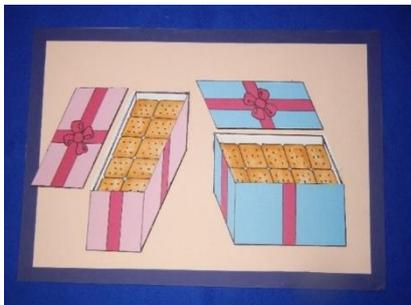
アメリカの心理学者シェパードによる有名な錯視の絵があるが、それはテーブルの絵で味気ないので、子供会用にクッキーの箱にして見たもの。大きさが異なるように見える2つの箱が実は同じ大きさで、蓋を交換するとピッタリと嵌まる。

#### 2. 「カードで1本どっこ」

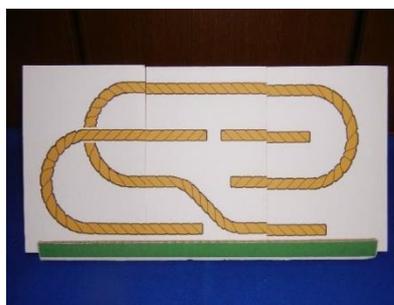
平成19年春の発表会で森田が「アラX4・アラカルト」の中で演じたもの。トリックス社の往年の名作「1本どっこ」は、短中長3本のロープが、同じ長さの3本になり、繋がった1本になる現象だが、その現象を3枚のカードで見せる。

#### 3. 「客の好きな動物を当てる」

平成17年に来日したカッパーフィールドが客席の30人の観客を相手に「ムーン」と云うマジックを演じたが、それは8枚のカードを観客に良くシャフルさせて客が選んだカードを演者が見ないで当てると云うものだった。カッパーフィールドは月と太陽のカードで演じたが、それを子供会用に動物のカードで作ったカードを紹介した。



シュパード・ボックス・イリュージョン



カードで1本どっこ



客の好きな動物を当てる

続いて次回のMMTPに出品予定している物を2件。

#### 4. 「イリュージョン・シルク」

2つに折った厚紙に3つの穴があって、夫々に赤・緑・黄のシルクが1枚ずつ通してある。そのうちの黄色いシルクを穴から抜いて、再度入れ直すと黄色いシルクは独りで穴の中に消えて行く。そこで赤いシルクを厚紙から引き出すと消えた黄色いシルクが赤と緑のシルクの間で結ばれて復元する。

その3枚のシルクは卓上に置いて、ポケットから白と赤のシルク



を取り出し穴の中に入れて また紅白のシルクは独りで穴の中に消えて行って、厚紙を勢い良く開くと紅白縞模様のシルクが飛び出して来る。

## 5. 「夏の風物詩(動物編)」

9枚の動物の絵を客に渡してボードに3X3に並べてもらって、そのうちの1枚を演者に見せないで裏向きにしてもらおう。そして裏向きにした絵を演者に分からなくするために、縦3列、横3列の好きな列を選んで その列の3枚を全部ひっくり返す事を何回か演者には見せずにやってもらおう。すると9枚の絵は表向きと裏向きが混在して最初に客が裏向きにした絵が一見分からなくなるが、ボードを見た演者はそれを見事に言い当てる。平成28年8月の例会で山本純一さんが「夏の風物詩」として発表したマジックを、動物の絵にして作り直したものである。

勿論「夏の風物詩」の絵のカードも工作了。



夏の風物詩(動物編)



夏の風物詩

4月からの例会では作品を主体に会員発表しているが、未だ手元に購入したり頂いたりした市販品が沢山あるので、そのうちの比較的価値が高い物を持参して500円均一として販売した。

そのうちの幾つかを実演で紹介もした。

「ブローアップ・フラワー」「携帯電話に変るカードケース」「デイメンジョン・カード」

「TAMC50周年記念硬貨」「ホテルを集めよ(Bag—O—Light)」など。

## ◆「83歳の人生を振り返って」マジック数題

高橋忠利 君

<https://youtu.be/PGv4E05JfSY?t=1622>

私は、旧満州鞍山曙町で1939年(昭和14年)3月14日の生まれで83歳になりました。満州で8年、日本で75年です。

1945年(昭和20年)、満洲の曙小学校に入学しましたが、1日通ったのみで悲惨な状況になり、周りは無警察地帯になりました。毎晩靴を履いたまま寝た記憶があります。

翌年の秋になって、ようやく家族6人で帰国することができました。今思うと、両親がよくぞ兄弟4人とも連れて日本に帰国してくれたと、本当に感謝しています。残留孤児にならずに感謝です。私の右足に大きな手術傷があります。これは4歳の時、風邪をひき、注射の後、化膿してなかなか治らず、麻酔なしで手術をしたと母から聞きました。

TAMCに入会させて頂いたのは、1962年(昭和37年)4月です。令和4年4月で会員歴60年になりました。第7代会長、坂本種芳氏の紹介で入会しました。当時、坂本さんは、横浜産経学園の講師をされており、そこへ私がマジックを習いに行ったのがきっかけです。その後、TAMCに入会をお願いして、入会させて頂きました。

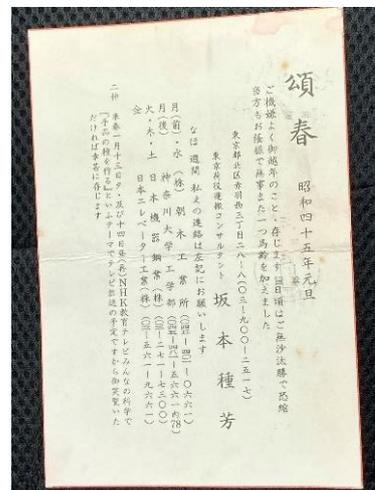
当時は、青年部がありました。最初にお会いしたのが、森田銈治郎さんで、コインマジックを見せて頂きビックリした事を今も覚えています。振り返りますと、60年の間、マジックは元より、大勢の方にご指導を頂き感謝しております。

2010年3月、東京都社会福祉協議会からの要請で、中国帰国者自立研修センター約24名の方々に簡単なマジックを教える機会を頂きました。…通訳付きです。彼らは日本人でありながら日本語が話せない。日本に帰国したが思うように日本語が出来ない。私が中国帰国者だと紹介して頂きました。(私、挨拶のみ:中国語で…)

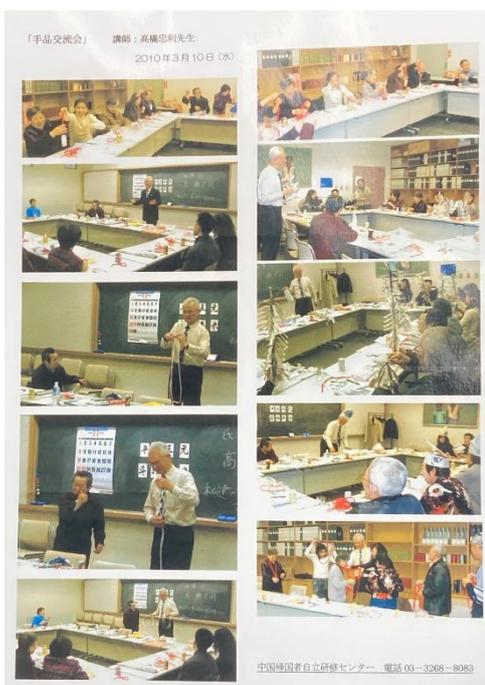
簡単な即席マジックは、通訳の必要なく、和気あいあいの楽しい一時でした。

いろいろと、教えた中で、カレンダーの予言を教えようとした時、通訳の方からそのマジックは、無理ですと言われました。「その理由は、この方達は、学校に一度も行っていないので、計算が出来ず無理です」と言われ、カレンダーの予言マジックは止めました。

私は、疑問に思っている事があります。長い間、中国と国交がなかったことや、時代の経過もありますが、何故、日本人の親が中国に預けた我が子を探さないかと



昭和45年 坂本種芳氏から頂いた年賀状 曜日ごとの電話連絡先が書かれている



ということです。日本に親を探しに来たが、親に会えないまま、日本に帰国をしている人が多くおられます。ちまたでは、子供の人身売買です。私の頭に今も忘れられない言葉があります。

※売人：ショハイ、タータテンホ、クーニヤンタータテンホ

※通行人：ドウシャオジン ピエダイシェンマ (How much is it? Do you give a Discount)

### 【スマホを使ったマジック3題】

#### 1. スマホをすり抜けるハンカチ

ダイソー製品。30 cmシルク付で 110 円



#### 2. スマホで数字を予言

〔演技・現象〕

スマホの電卓アプリを起動して客に渡し、以下のように操作を  
してもらおう。

2桁の好きな数字を入れ、「×」を押してもらおう。

もう一度2桁の好きな数字(前と同じ数字でも違う数字でも構わない)を入れ、「×」を押してもらおう。

最後に、好きな一桁の数字を入れてもらい、「＝」を押してもらおう。

表示された数字は、予言された数字となっている

(演技では、この日の日付「20220602」を予言の数字とした)。

〔準備〕

まず、スマホの電卓に予言する数字を入力し、「+」「0」「×」「.」と押して準備完了。最後は0の右脇にある点(ドット)。

〔演技〕

上記のように、まず、スマホの電卓に予言する数字を入力し、「+」「0」「×」「.」と押して準備完了。最後は0の右脇にある点(ドット)。

〔解説〕

スマホの電卓は、一般の加減乗除の数式のルールに従い、足し算・引き算よりも掛け算・割り算が優先されます。

また、演算式の次に「.」とだけ入力すると、1より小さい小数(0.\*\*\*\*)の最初の 0 を省略することになり、「0.」と表示され、それまでの計算結果は見えなくなります。この状態で、客にスマホを手渡し、入力してもらいます。仮に客が入力する数字を「25」「77」「6」とすると以下のような計算式になります。

$$[\text{予言の数}] + 0 \times 0. \underline{25 \times 77 \times 6} = [\text{予言の数}]$$

アンダーラインの部分はお客に入力してもらおう部分ですが、結局、お客がどのような数を入力しても、0に掛け算をすることとなり、その部分の答えは0。要するに[予言の数]に0を足すこととなります。

これは iPhone 標準搭載の電卓アプリでは出来ませんが、仕様が違う電卓アプリでは出来ない可能性があります。一般の卓上電卓では出来ない可能性が高いと思います。演じる前に、ご確認をお願いします。

#### 3. スマホがカードを当てる

〔現象〕

客に、好きな2桁の数字(11～19)を言ってもらおう。

客に一組のカードを渡し、その枚数だけ上から1枚ずつ数えて、テーブルの上に重ねて置いてもらう。

テーブルに置いたカードを、そのまま元のデッキの上に戻してもらう。

2桁の数字の10の位と1の位の数字を足してもら(15なら1+5=6)。

前と同じようにデッキのトップから1枚ずつ数えてテーブルの上に置いてもらい、その数のところのカードを表にする。

そのカードはスマホの中に予言されている。

[準備]

予言したいカードは、トップから10番目に置く。

スマホに予言したカードを表示させるのは、倉持さんが作ったアプリ Card2Phone などで表示してもよいし、単に事前に写真を撮っておいて表示してもよい。スマホでなくともいろいろな予言方法がある。バイスクルのケースには、ハートの10が印刷されているものがあるので、それを利用するのも面白い。

## ◆ 最近ショップで購入したマジック

蔵原克治君

<https://youtu.be/PGv4E05JfSY?t=2603>

私はこれまで、セルフワーキングのカードマジックをもつぱら紹介してきましたが、今回はマジックショップから購入した最近のマジックをご覧に入れます。従って、種明かしは致しませんので興味ある方はマジックショップから情報を得て下さい。ショップ名は滋賀県大津市の「フェザータッチ」です。

<https://www.ftmagic.jp/>

(1) 袋の中のカード(製品名: UNHANDED)

① 紙袋からお客が選んだカードが、お客が指定した枚数目に出現する

空の紙袋とカードデッキを準備します。一人のお客様にお手伝いを頂きます。

カードをシャフルして1枚カードを選んで頂きます。そのカードをデッキに戻し、シャフルします。

一旦カードケースにカードを仕舞います。紙袋を検めた後、カードをカードケースから出して紙袋の中に全て入れてしまい、最後にカードケースも仕舞います。紙袋を振ってカードを混ぜてもらいます。

お客様に1から52の間の数字を言ってもらい、袋の中から1枚ずつカードを出して、その数字の枚数目のカードを取り出すと、お客が選んだカードと一致します。



② お客が選んだカードがカードケースから出現する

自由にシャフルしたカードを全てお客の手に持ってもらい、半分くらいをカットしてテーブルに置いてもらう。

残ったデッキの一番上のカードを覚えてもらい、そのカードをテーブルに置いたデッキの上に置いてもらう。

手持ちの残りのデッキをテーブルのデッキに重ねてもらい、自由にシャフルしてもらい。その間、術者は一切カードに触らない。

カードとカードケースを紙袋に入れてかき混ぜてもらい。

今度はお客が選んだカードがカードケースから出現する。

(2)最もクリーンなトライアンプ(製品名:ペトロリアム)

52枚のカードをフォールスシャフルした後、1枚のカードを選んで覚えてもらい、デッキの中に戻してもらおう。

デッキの半分くらいを取って下半分を表向きにして上半分とリフルシャフルする。カードが裏表混ざっていることを示す。

デッキを表向きにテーブルに置いてお呪い掛け、デッキを広げると全てのカードが表向きになって1枚だけが裏向きである。そのカードを取ってみるとお客が選んだカードである。

(3) Money Change(海外の紙幣を色々集めて、日本円に両替する)

海外の紙幣を10枚くらい重ねて持って、表裏を見せる。日本の1万円札も1枚見せる。

海外紙幣を1万円札の裏に重ねて、お呪い掛けると、海外紙幣が1万円札9枚に入れ替わって両替される。

動画: <https://youtu.be/i9GxotBXF-I>



◆ 「ロープとハンカチ」を使った楽しいマジック

田澤利明君

<https://youtu.be/PGv4EO5JfSY?t=3218>

今回紹介したマジックは、ロープとハンカチで構成し、技法的に難しくないもの、そして身近のマジシャンが演じていないものですので、楽しんでいただけたと思います。これらのマジックは、7月の土曜研修にて解説いたします。

① 「ロープと筒」・・・筒にロープを通し、もう一度、ロープを通すことで2重に通されたロープが筒から外れるという現象

バーディ小山が販売していた材料(解説書無し)をもとに、自分で演技と方法を解明したものです。この原理は、2020年9月第二例会で、高橋忠利さんが紹介されたサイコロに空けた穴にロープを通し、更にもう一度穴に通したロープが取れてしまうというマジック<高木重朗氏の著書「手品奇術・タネ明かし」P.153の「抜け出すブロック」>の技法を取り入れました。



- ②石田天海のペネトレーションシルク・・・ロープに結び付けたシルクまたはハンカチが外れてしまうという現象

スピリット百瀬師と小川勝繁氏が得意としているマジックで、氣賀康夫さんと私の二人で技法を身に着けました。原理も複雑で、かなり難しい技法で相当量の練習が必要です。日本・海外ではだれも演じていない珍しい貴重なマジックです。



- ③ロープに結び付けたハンカチ（シルク）の結び目が残されたまま外れるというマジック。

テクニック不要で出来る方法と偽結び（フォールスノット）さえできればできる方法の2種類があります。



- ④平岩白風氏による「ロープに結んだシルクが結び目をつけたまま分離する奇術」奇術研究 59 号 P21 に紹介されているマジック

非常にサロン受けするマジックで不思議なマジックですが、プロ含めてマジシャンが演じているのを見たことがありません。非常に簡単ですので、是非皆さんに覚えて頂きたいマジックです。

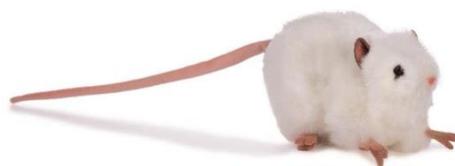


- ⑤ハンカチネズミ・・・手に持ったハンカチネズミがまるで生きているかのように動き回る。

ミカメクラフトの三瓶さんの方法です。男性用 45cm ハンカチを織り込むことでハンカチネズミを作成します。

次にハンカチネズミを生きているかのように動かす技法は 3 つの基本的動かし方をマスターすればよいだけです。難しそうに見えるためか誰も演じられることはない様ですが、この 3 つの技法はとても簡単で、15 分も練習すればだれでも演じられるようになる優れた技法（？）です。右手または左手の指を動かし、その時、指の動きを客に見えないように手でカバーすることがポイントです。

⑥ぬいぐるみネズミ・・・ハンカチネズミと同じ動かし方をすれば、よりリアルなネズミのような演技ができます。



AMAZON で@1000 円 (HANSA ブランド) で購入したぬいぐるみネズミの腹に指 1 本分の穴をあけることで、ハンカチネズミよりもさらにリアルな動き (餌を食べるネズミや方向転換するネズミなど) が可能です。



## 連絡報告

### ◆ 家族会マジック発表会を振り返って

村上大会委員長ほか

<https://youtu.be/PGv4E05JfSY?t=4006>

#### 家族会マジック発表会について

村上大会委員長

今年の第 17 回家族会は、コロナ感染予防のため 3 年ぶりに 5 月 29 日(日)にアルカディア市ヶ谷において、開催することが出来ました。開催に至るまでの経緯を皆様にご報告致します。

昨年の暮れには、だいぶコロナ禍も治まってきましたので、家族会の準備を始めたころ、年が明けた今年 1 月には、東京での当日感染者数が、徐々に増え始め、先が見えない状態になってきたので、今年も家族会中止をせざるを得ないと考え始めました。

しかし、2 年も開催していないので、簡単に中止を決めていいものかとの意見もあり、ここは会員全員の意見を聞いてみることでアンケートを実施することに致しました。

その結果、20 数名の方が、出演する、10 名位の方が協力する、10 数名の方が参加出来ない、との事でした。30 数名の方が家族会開催に前向きに考えて頂いていることから、中止した場合での会場キャンセル費用を支払う覚悟で進める事とし、万が一、当日の感染者数が 1 万人を



超えた日が何日も続く様であれば、中止することを前提に準備を行うことに致しました。

幸いにも家族会開催日まで感染者数が1万人を超えなかったので無事に開催することが出来ました。

感染対策として、お客様に対しては、マスク装着、体温測定、アルコールによる手消毒を実施し、出演者には、フェースガードを支給してお客様に顔を出して演技して貰う事に致しました。また、お客様の数も例年は、200名位、ご招待したのですが、今回は半数以下に押さえ、結果的には、76名の方が来場して下さいました。

この様に従来のやり方と違う方法で行ってきましたが、特にお客様からは不満もなく、「大変よかった」「久し振りで楽しかった」との声も聞かれ、若い方も多くいらっしやり好評でした。

開催時間は、いつも2時間でしたが、1時間半に絞り何とか予定通りに終わることが出来ました。

今回は、コロナ禍において先行き不安定の中、演技する方は大変だったと思いますが、お陰様で皆様のご協力を頂き無事に終わることが出来ましたことを感謝する次第です。有り難うございました。

なお、来年の家族会開催予定は、2023年5月28日(日)アルカディア市ヶ谷を予約致しましたので、ご承知願います。

## 各会場の司会、出演者の感想

磯部真一君(雲取・司会) 池内、大原、山口、吉室、濱谷、柏木、森田、磯部の順に計8名が出演しました。観客の閑古鳥が鳴くわけでもなく、満員でギューギューになるわけでもなく、適当な人数で、いい感じの方ばかりで、演技がしやすい雰囲気でした。みなさん、演技的に大きな失敗もなく上手いったのではないかと思います。他の部屋の演技を見ることができないのが司会のつらいところですが、よく考えると、他の部屋の司会は牧原さん(吉野)、上村さん(鳥海)、山崎孝一さん(妙高)という錚々たる顔ぶれで、その中で自分がいちばん地味な司会だったような気がします。

犬竹一浩君(吉野) さすがに、牧原さんは司会が上手でした。各出演者の演技がいろいろな種類にわかれていたこともよかったです。出演者もお客さんのために真剣に演技して、お客さんも真剣に見てくれていたことを感じた。私が招待したあるご夫妻は、マジックを見るのが初めてで、ビックリして「こういう世界もあるんだ」と非常に喜んで、「また呼んでください」と帰られました。

八田進二君(幹事長・鳥海・妙高) 私は鳥海では前半のトップバッターでしたので、演技が終わった後、様子を見ていました。司会はエンターテナーの上村さんで、演技者が出る度にいろいろ紹介を工夫され、会場を盛り上げてくれたと思います。観客は、私の招待客も多く来てくれたこともあり、最初は立ち見が出るくらい満杯で、最後まで盛況でした。

私の演技ですが、後半では、私は妙高で、急に出られなくなった児玉さんの代役として2度目の演技をしました。さすがに本番となると緊張して、鳥海での最初の演技の時は、お客さんの名前を聞くのを忘れ、やろうとしたこともほとんどできず、予定の半分くらいの時間で終わってしまいました。後半はリベンジと言うことで、上手く演ずることが出来、個人的には大変満足しています。



田中雅康君(妙高) 三年前、はじめてアルカディアでの家族会に参加して緊張しましたが、今回も胸がドキドキして心配でした。「横綱」「大関」クラスの会員に交じって、私のような「三段目」になったかいないかのような者が演ずるのはどうかと思っていましたが、それでも「練習しなければダメだよ」といわれ、皆さんの前で、できるだけ恥をかかないような努力をして、自分では65点かなあと思います(60点以下だと、大学では単位がつかないので、ギリギリ及第という意味)。ほかの方々の演技を見ていて、みなさんやっぱり上手いなあと、なるほどと思いました。時には、演技もう少し「間」というものがあるといいなあ、と感じる場面もありました。「間」がありすぎて「間延び」もいけません、「間」がなくて「間抜け」もいけないので、「間」の稽古というものが別にあると感じた次第です。それ以外、ほかの部屋はわかりませんが、この部屋の皆さんの演技はすばらしく、平均で80点をつけてもいいのではないかと思います。山崎さんが司会でしたから、あの通りデカイ声で、多くの方はそれに引っ張られて、たいへん楽しい会場でした。



牧原俊幸君(吉野・司会) 演者の出演が非常にスムーズにいき、お客様も大変よかったですと思います。

土屋理義君(副会長・妙高) 今回の家族会は、大会委員長の村上さんをはじめ関係者が大変な努力をしていただきました。2月から3月にかけて、開催は難しいという意見もありましたが、2年間開催しなかったため、個人的にはキャンセル料を払っても、開催の方向で行きましょうという、無理なお願いをしたわけです。結果として、コロナ感染者数も急激ではないですが、次第に減少し、それでは開催しようということになって、大会委員の方々が奮闘して、3年ぶりの家族会をよくこままでまとめてくださったと、本当に有り難く思います。

私は身内しか観客に招待しませんでした、みんな楽しんでくださり、「見に来てよかった」と言ってくれました。大会委員の皆さまのご努力を多として、感謝申し上げたいと思います。また秋の大会に向かっても、大会委員の方にはよろしく願いたく、また会員も一丸となって力を合わせて頑張っていきたいと思います。

氣賀(吉野・鳥海) 今回は開催が出来るかどうか、最後まで心配していましたが、マスクではなく、フェイスシールドをして演技をしたというのが大変よかった。マスクをすると演者の表情がよくわからないので、フェイスシールドは大正解だと思う。出演者の人数も心配しましたが、30数名の出演者がいらっやったことは素晴らしいことと思います。後で動画で全体の演技を拝見しましたが、皆さんの演技の質が高いことに感心しました。毎回、たいしたことはなくとも「今回はよかったです」というのですが、今回は掛け値なしに質が高かったと思います。皆さまのご努力に感謝し、今後にも期待したいと思います。

#### 蔵原会長

無事、成功裏に終わることが出来、会員の皆さんへ厚くお礼申し上げます。

コロナ感染症の影響で発表会の開催も2年間中止して参りましたが、今年も2月の時点では中止もやむを得ないかと 大会委員長とも苦慮していました。3月末には中止した場合の会場予約キャンセル料金が発生しますので、3月末時点で最終判断することにしました。

会員の一部の皆さんからも今年は開催して欲しいという要望もありました。結果的には3月末時点で開催を決定し、大会委員を中心に精力的に準備に掛かって貰いました。

出演者の募集、コロナ感染症対策等準備すべき事も多く、短期間によくやって頂きました。出演者も皆様のご協力で32名の方が応募して頂き、演目もバラエティーに富んだ良い出来映えでした。お客様の人数も例年の半分に絞りましたが、多くの皆さんから好評を頂きました。

今年、TAMC 家族会の発表会を開催できて本当に良かったと思います。大会委員の皆さん、出演された皆さまへ改めて厚くお礼申し上げます。秋の大会も10/23(日)に決まっていますので、是非、大会が盛上がるよう宜しくお願いします。

## 会員による発表

### ◆ MMTP 出品のマジック

森田 晃 君

今回も森田の作品を幾つか紹介した。

<https://youtu.be/sGh9R8vt-PA?t=46>

#### 1. 「恋占い(A)」(森田晃ノート第11巻35章)

1~9の番号カードを3X3に並べて、客席の全員に好きな1枚を選ばせる。そして選んだカードから予め決められた数だけ移動して行くと、全員が裏にハートマークのあるカードに辿り着いて、恋は全員が成就する。2017年の例会で山本純一さんが発表したものである。



#### 2. 「恋占い(B)」(森田晃ノート第15巻06章)

1~9の番号カードを3X3の柵に客に自由に並べて貰う。そして客にカードを1枚自由に選んで貰う。そうしたら選んだカードから予め決められた数だけ順に移動して行くと、最後に到達するカードの裏は必ずハートマークがあるので恋は成就する。2019年の研修会で松岡聡さんが発表した「9マスの予言」を「恋占い」ふうに変更したものである。

#### 3. 「アンバサラー・ナンバー」(森田晃ノート第16巻45章)

5枚の短冊に5色のシールが貼ってあって、そのシールには適当な数字が書いてある。客の1人に出て貰って、5枚の短冊から1枚ずつ5色のシールを剥がして貰って、それを予言の紙の裏側に貼って貰う。そして貼られたシールの数字を電卓で足して貰うと、その答は演者の予言と一致している。しかもその答えは客の誕生日と一致している。セオ・マジックの商品を参考にして製作した。



#### 4. 「財布に2度飛び込む客のカード」(森田晃ノート第02巻19章)

客がデッキに息を吹きかけると、客がサインしたカードが演者の持つ財布の中に飛び込み、他の客にデッキを渡して息を吹きかけて貰うと、客のカードが再度 財布の中に飛び込む。20年ほど前の例会でゲストのMr.サコーが演じたマジックで、第1回の春の大会で森田が演じた。そのとき購入した財布は第2回

MMTPで販売したが、今回 再度 財布を自作したので発表した。

### 5. 「ラスベガス」(森田晃ノート第01巻05章)

ロイヤル・ストレイトの役札のうち10のカードをJOKERに入れ替えると先ず5枚とも裏向きになり、表を見ると4Ace+JOKERの5Aceになる。ダイ・バーノンの作品「ショッキング・カード」を森田がラスベガスでのポーカーの話に脚色したものである。

### 6. 「指を貫通するカード」(新版森田ノート第24巻41章)

カードに明けた穴に指を入れてもカードが抜け出る。1977年の例会で高木重朗さんが発表したものである。



### 7. 「筒の仕切り板を貫通するボール」(森田晃ノート第01巻16章)

筒のスリットに横から仕切板を差し込んで遮断の状態にするが、その筒にボールを入れると中を通り抜ける。2002年の例会で海老原さんが発表した。



1. 恋占い(A)



2. 恋占い(B)



3. アンバサリー・ナンバー



4. 財布に2度飛び込む客のカード



5. ラスベガス



6. 指を貫通するカード



7. 筒の仕切り板を貫通するボール

## 1. 家族会の反省

梶田さんから家族会の反省とかの話でもいいから発表して下さいという話があり、本日の会員発表となりました。

私の家族会の発表タイトルは「『あってもない』は一度だけ」で、12の国旗から一枚の国旗を選んでもらい、その後7枚のカードを一枚ずつ見せて、この国旗があるかないかの解答をもらい、一度だけあっても「ない」と嘘の回答を頂き、嘘を言ったカードを当ててどの国旗を選んだかを当てる(あやまり修正符号理論を使う)というものでした。守岡君はカレンダーを使って31の数字から同じように数字を当てました。この部分の反省としてはオリンピックのユニフォームを着ていたのも、雰囲気作りは出来たと考えています。しかし、ビデオをみると忙しく動き回っているだけで、所謂決めのポーズがなく、しまらない印象でした。今後は決めのポーズを意識しながらマジックを演じたいと考えています。

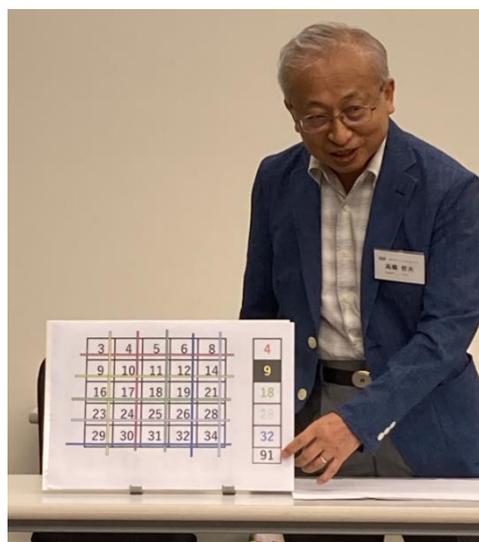
第二段階としてオリンピックの五輪の旗と国際連合の旗が裏表になっているトラップドアを出して裏と表をひっくり返しました。リハーサルと変わったのは、最後の段階で2024パリオリンピックを元気で楽しみましょうと締めくくりました。今後もトラップドアでのこの方式を色々考えていこうと思います。(ここは家族会DVDで参照下さい)



本日会員発表の準備をしている時にもう一つドアを開けたらどうなるかと思い、作ってみました。これはメロドアで、表が地下鉄の路線図で裏はトンネルで真っ黒、そこに3頁めにひまわりのページを作ってみました。ひまわりの部分でドアを作り、ドアをくぐると路線図に出てくるということになります。まだ検討を始めたばかりですので、暫く研究をしてみたいと思います。3月の誕生月の会員発表を目指して各種試作をしてみます。(ここは例会のビデオをご覧ください)

## 2. 魔方陣・指定数方陣マジック

さて、大原さんが縦に5個、横に5個の所謂魔法陣で、列が重ならないように各行から一つの数字を選んでもらい、その合計が、91という自分の年齢を導き出すマジックをやってみました。私も7-8年後くらいにいろんな機会に演じてみたいと考えています。このマジックの魔法陣の名前を大原さんに聞いたところ不明ということでしたので、パズルについては佐々木節夫さんと思ひ立ち聞いたところ「指定数方陣」というお答えを頂き、詳細は『数の遊び魔法陣・図形陣の作り方』という本、著者は加納敏教授と判明し、研究してみました。



魔法陣に関しては高橋雅洋さんが5月29日の数字2つを足して34(5+29)ということで4X4の合計34の魔法陣を作っていました。別の舞台では濱谷さんがトランプの裏に書いた数字で、まず数字の合計(76)の予言を示して、20、22、5、29という家族の日を出すというマジックをやっていて、指定数方陣ができなかと考えてみましたが、8桁の足し算はちょっと無理とあきらめました。そこで自分の生まれた年を4つに分けて19、51、3、31として4X4の魔法陣(A)を作ってみました。

19	2	33	50
32	51	16	5
49	34	3	18
4	17	52	31

(A) 筆者誕生日 1951年3月31日

本日の魔法陣(B)は2022年6月16日でこれになります。合計が3桁であれば指定数方陣も可能と考えてこれ(C)を作ってみました。5つの合計は616で本日の6月16日になっています。

20	13	28	3
9	22	7	26
10	29	6	19
25	0	23	16

(B) 6月第二例会の日2022年6月16日

2	3	4	5	7
59	60	61	62	64
115	116	117	118	120
181	182	183	184	186
248	249	250	251	253

(C) 6月16日 616の指定数方陣

将来の展望を持つと明るくなるような気がして、2023年9月27日(D)、2024年7月26日(E)、2025年5月3日(F)の魔法陣を作成してみました。この日はなんのでしょうか。2023年9月27日はTAMCの30周年の日ですね。次の2024年7月26日はパリオリンピックの開催日です、次はどうでしょうか、これは大阪万博の開催日です。いずれも4X4の魔法陣に仕上げることが出来ました。

20	7	31	21
29	23	14	13
19	33	9	18
11	16	25	27

(D) 2023年9月27日

20	6	28	23
27	24	17	9
22	29	7	19
8	18	25	26

(E) 2024年7月26日

20	2	9	22
6	25	11	11
19	12	5	17
8	14	28	3

(F) 2025年5月3日

さて、時間があるようですので、一つの指定数方陣を作りたいと思います。

TAMCの設立90年は2023年9月27日です。2行目に20 23 9 27とおきます。これを使って5X5の指定数方陣をつくります。このやり方はマーチン・ガードナーの『ガードナーの数学パズル・ゲーム』に記載の方法です。20+23+9+27は79ですので90との差は11となります。この11を上から1、0、2、5、3と分散させます。

そしてその数字をそれぞれの行に足します。そうすると5X5の指定数方陣(G)ができます。2行目の

数字の合計と 5 列目の数字の合計が指定数方陣で 5 つの数を合計した数(今回は90)になります。ご興味があったらやってみて下さい。今回は 5 列目の数字のご合計が少ないですが、5列目の数字の合計が、作りたい数字の 3 分の1くらいあればおもしろいと思います。

21	24	10	28	1
20	23	9	27	0
22	25	11	29	2
25	28	14	32	5
23	26	12	30	3

(G) 2023年9月27日が90周年の指定数方陣

※「指定数方陣」とは、右のように、方陣の各列・各行から一つだけ数字を選ぶようにすると、選ばれた数字の合計は、どのように選んでも同じになる、というものです。

右の例では、 $23+24+11+27+5=90$  となります。列・行が重複しないように選ぶと、どのように選んでも合計は 90 です。

家族会では、大原さんが、この原理を使い、任意で選ばれた数字の合計が予言されており、実は自分の年齢であった、というマジックを演じられました。

<del>21</del>	24	<del>10</del>	<del>28</del>	<del>1</del>
<del>20</del>	<del>23</del>	9	27	<del>0</del>
<del>22</del>	<del>25</del>	11	<del>29</del>	<del>2</del>
<del>25</del>	<del>28</del>	<del>14</del>	<del>32</del>	5
23	<del>26</del>	<del>12</del>	<del>30</del>	<del>3</del>

<https://www.youtube.com/watch?v=SJSgqS0e6XM>

## ◆ 「マジックの BMW について」とマジック数題演技

高橋忠利 君

<https://youtu.be/sGh9R8vt-PA?t=2899>

### マジックの BMW について

皆さん、マジックの「BMW」をご存知ですか？

B(ボケない) M(モテる) W(若返る) です。

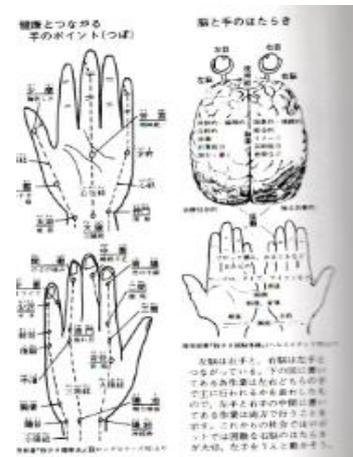
このうち、MとWは私にはもう無理ですが、Bの方は実演しています。

ここに、堤芳郎さんの『マジック入門』という本があります。これは、ご本人にお会いしたときにいただいたものですが、7ページに、脳と手のはたらき、脳は右手と、右脳は左手につながっていて、健康につながる手のポイント(つぼ)が記載されています。

それで、手の運動が脳にいいことが解り、一人ジャンケンとコインロールの練習を毎日実践しています。

一人ジャンケンも毎日15回。左手がグーを出したとき、右手はチョキを出します。左手のグー、チョキ、パーに対し、右手はチョキ、パー、グーと、これを15回連続して続けます。

コインロールも以前から続けて練習しています。松本公一先生は、1ドルコインででコインロールをされますが、私は1円でコインロールが出来る様になりました。



## マジック演技1

〈演技〉コインを1枚を左手の中に入れるが消失し、ジャンボコイン(中嶋乃武也さんから頂いた新500円硬貨のデザイン)に変わる。

〈解説〉ジャンボコインは背広の裏にセットしておく。

一旦、コインを左手の中に入れるが、中指でコインを抑え。左手の甲に移動させ(A)、両手を手を開いて消失したように見せる。更に左手首にコインを移動して保持し(B)、コインは完全に消えているように演技し、目に見えなくなったコインを右手でつまんで空中に放る動作をし、それを左手でキャッチする動作をすると同時に、背広の裏にセットしたジャンボコインを左手の上に置く。。



A 左手の甲にコインを移動する



B 左手を返ししながら開くながら親指でコインを左手の手首に移動する。

## マジック演技2

3本ロープ(3本に結んだロープが一本に繋がる)

誰でも演じているマジックですので、解説は省略します。

## マジック演技3

リングとスカーフ(スカーフに通したリングが途中で止まる。また、下から上に上る。

〈解説〉事務用名刺クリップをスカーフの端に結んでおきます。



「収縮リール名刺入」  
(ダイソー製品)



輪に糸を通し、下に引き  
左手で調整する。

## マジック演技4

バルーンアート・リング

3本のバルーンアート(アートバルーン)リングで、チャイナリングを演じました。

チャイナリングの手順通りですので、タネを画像を掲載します。

1個のバルンにマグネットを使用しています。





左手に持つ方は、パチンコの玉を。片方には、磁石を取り付け調整する。2 個のバルーンは、普通に結ぶ。

私の考案マジックかな。

◆ テンヨーマジックの紹介 ～「シルクセレナーデ」の巻～

柏木 直也 君

<https://youtu.be/sGh9R8vt-PA?t=3399>



今回のテンヨーマジックシリーズはいつもと趣向を変えて、TAMC の皆さまなら一度は見たことがある、あるいは自分で演じられたことがあると思われる作品のご紹介です。

皆さんが現象もタネも知っているマジックをなぜ今更取り上げるのかと思われるでしょうが、既知の名作について掘り下げてみるのも悪くないのではと思います、この度ご紹介することにしました。

今回ご紹介する『シルクセレナーデ』というマジックは、キッズショーでも敬老会でも演じることができ、オープニングにもエンディングにもなる使い勝手の良い優れたサロンマジックです。

(今の子どもはレコード盤など見たことがないでしょうが、キッズショーでも、「昔は音楽を聞くのにこのようなものを使っていた」という話題提供になりますし、敬老会なら皆さん懐かしんでいただけるのではないかと思います)

何ら難しいテクニックを必要としない、技術的には極めて簡単な手品ですが、実はちょっとした演技上のコツを押さえるだけでぐっと見栄えのする演技になるということをプロマジシャンであり元・テンヨーディーラーの瀧川一紀氏(梅田阪急百貨店時代に大変お世話になりました。)より教わりました。

小学生の頃、誕生日プレゼントか何かで買ってもらったテンヨーのマジックセットに『シルクセレナーデ』

が入っていて、何度か人前で演じたこともあり、自分なりにレパトリーにしていたマジックでしたが、実際プロのアドバイスをお聞きすると、自分の演じていたのは何だったんだ！と恥ずかしくなるくらい、ダメダメの演技をしていたことに気づかされました。

経験豊富な TAMC の皆さんに私などがお教えするというおこがましいことをしようというのではなく、私にとっては眼から鱗だったプロのコツのいくつかをご紹介します、そのうちの一つでもご参考になれば良いなという思いで発表させていただきました。

シルクを使うマジックなど普段まったくやらない私がシルクの扱いに手慣れた会員の方々の前で演技するのはとても気が引けたのですが、演技もせずにコツだけを淡々と伝えるのもどうかと思い、拙い演技からスタートさせていただいたこと、お目汚しではありましたが、寛大なお気持ちで見えていただけたなら幸いです。

以下、例会で紹介したいいくつかのポイントを箇条書きにします。

1. タネのレコード盤（青いやつで、袋になっている）の口を広げて“開き癖”をつけておく。
2. 黒いレコード盤は解説書では 1 枚ずつ入れて、その度にシルクを通し色がついたレコード盤を取り出すように書いていますが、最初に 3 枚の黒いレコード盤をまとめてジャケットに入れてしまう。  
（これには賛否両論あると思いますが、まったく同じ動作を 3 回繰り返すのは見ている観客にとって辛いものがあると教わりました。私は、最も注目の集まる 3 回目に一番見せたくない不自然に分厚い青いレコード盤を取り出すことに抵抗がありましたので、この改案はすんなりと受け入れられました。）
3. 黒いレコード盤をジャケットに入れる時、ジャケットの中の開き癖のついている青のレコード盤の袋をサッと開いた状態にしますが、ジャケットに目をやるのはこの瞬間だけにし、次に黒いレコードを入れる時にはジャケットにさりげなく目をやるくらいで、あまりじ〜っと見ないようにしてさりげなく入れる。  
（いかにも特定の場所を探して入れているように見えてはならない！）
4. シルクを通した後、レコード盤を取り出すときはジャケットを下に下ろすようにし、見せたい対象物のレコード盤はできるだけ動かさない。
5. レコード盤がジャケットを離れた直後、レコード盤を 180 度ツイストして裏もしっかり見せて取り出す。こうすればジャケットに残っている他のレコード盤が出てきてしまう事故も起こりにくい。
6. タネのレコード盤（青色）は二番目に出す。（私は“赤→青→黄”の順番にしています）分厚い青色のレコード盤を出す際、最後に残った黄色のレコード盤がついてきてしまう事故が起こりやすいのでジャケットの裏の穴から黄色のレコード盤を押さえておく。
7. 最後に観客ができるだけジャケットを怪しむように誘導して、ジャケットを十分に勿体つけてから開いて空であることを示して演技を終了する。
8. シルクは 45 センチを使う。（私が例会の時使ったのは 60 センチ）

30 センチシルクに比べると見違えるくらい演技が華やかになります。

製品に付属しているのは 30 センチシルクですが、この理由についてディーラーさんに尋ねたところ、テンヨー製品は 2000 円くらいまでの定価設定というのが大前提のようで、そうすると 30 センチシルクが价格的に限界だからだそうです。（こんな理由、あまり大きな声では言えませんね）



写真1



写真2

考案者はチェコのマジシャン、Pavel ですが、実は最初にテンヨーから発売されたときは Pavel の名前がクレジットされておらず、しかもジャケットも開くことができないお粗末なものでした。(写真1)

すぐにパッケージの右上に”Pavel’s” という表記が加わることになり、ジャケットも開くことができるように改善されます。ただ、当時のジャケットの開き方は上部にフックがあり縦に開くタイプでした。これは片手でジャケットを一瞬で開くことができる利点がありましたが、フックの部分が傷みやすく、私が小学生の頃に使用していたものはセロテープの補修跡がたくさんあるような状態になっています。(写真2)

現在のものはジャケットが横に開くタイプで、耐久性がアップしています。レコードというメディアをほとんど見かけなくなった現在でも販売されているロングセラーです。

現在ディアゴスティーニで継続中のシリーズ”The Magic“にはテンヨーとのコラボ製品が附属することが多いのですが、その第 20 号に附属しているのがシルクセレナーデ でした。

テンヨーから発売されたオリジナルに比べ、ディアゴスティーニのバージョンはレコードも艶があってリアルで、ジャケットのデザインもお洒落なので気に入っています。今回の例会での演技もディアゴスティーニのものを使用しました。今でもディアゴスティーニのサイトからバックナンバーの購入が可能です。(写真3)



写真3

Disclosure; No benefit in any form has been received from the Tenyo company, related or unrelated to this article.

((株)テンヨー からは何らの利益供与も受けておりません。私が本当に良いと思うものだけ正直にご紹介しています。)



## 〔講習概要〕

テーマ 1 Cone と Coin のファンタジー 講師：氣賀康夫君

巻末に解説書添付 動画 [https://youtu.be/MMTEr2aeX\\_8](https://youtu.be/MMTEr2aeX_8)

テーマ 2 Bob Hummer の原理「CATO」を極める！ 講師：柏木直也君

動画 <https://youtu.be/XzxORUW3voY>

1. 今回の研修会では、2020年8月、TAMC ZOOM 例会にて柏木が John Bannon の「Degree of Freedom」を発表した時にお約束していた解説および実技指導を行うことを目的とし、このマジックの根本にある原理から詳しく説明いたしました。

講習に先立ち、まず「Degree of Freedom」を実演することから始めました。



2. 次に原理を理解するために参加者各自に実際にトランプを持っていたき、12枚のカードで、カットして偶数枚ひっくり返す操作(CATO(Cut And Turn Over))を理解していただきました。

3. 次に歴史的背景についてご説明しました。

1940年代、Bob Hummer氏が「18 Card Mystery」として発表した手順がこの原理の初出だと言われていますが、奇術としてあまり面白いものではありませんでした(失礼！)。

その後、この原理を利用した手順がいくつか発表されますが、そのうち優れた改案とされている Oscar Weigle氏の「Color Scheme」、Charles Hudsonの「Baby Hummer」を実演した後、2002年、Mr マリックがテレビ番組で紹介して話題になった手順である Steve Freemanの「Royal Straight Reverse」を解説し、各自で実践していただきました。

原理が理解できたところで、「Degree of Freedom」を詳しく解説しました。

最後に20枚のカードを5列×4行に並べ、魔法の絨毯の要領で折り曲げていく動作が、実は1枚ずつ交互に分けていき片方を反転する動作と同じことであることをご説明しました。

4. 最後に Bob Hummer の原理を利用した他の面白い手順として、古典的な「魔法の絨毯(Flying Carpet)」(『カードマジック入門事典』p.349)と藤原邦恭氏の「オートマチックエーストライアンプ(まぜまぜフォーエース)」(Genii 2000 May)を解説しました。

TAMC会報 令和4年(2022)7月号

担当:梶田明宏

2020.12.10.

氣賀康夫

<解説> 天海師の Coin in Cone Vanish は私が天海師に師事しているとき、しばしば見せていただき、そのハンドリングの巧妙さに感銘を受けていた芸である。師の方法を直接練習する機会はなかったが、そのプロットは 100%理解している。その後、この奇術の解説が Genii1958 年 3 月号に解説されていることを知ったが、それを読んでも、この奇術の良さはわからないだろうと感じた。師の芸を誰かが解説したものであるが、その解説が不十分だったからである。そこで、この度、この芸の再生を試みることにした。

師は小舞台(クラブアクト、パーティーマジック)向けにこの芸を考えられたと思われる。そこで基本的に、術者は右半身に構え、術者からみて右に手を伸ばして紙のコーンを持ち、左手にコインを持ち、それをコーンの中に落とし込み、それを操るのであったが、それは師が左利きだったからである。もしも右利きが同じ演技をするのであれば、当然左半身に構えて右手でコインを扱うはずである。そしてその前提は、観客が見ている両手の動きを、術者も観客と同じ方向から見ているという演技スタイルであった。しかし、この芸を小舞台またはクローズアップで実演するとすれば、術者の両手が真正面に向いている方がより自然であると考えた。そこで以下の方法ではそれを前提に右利きの演者が真正面で天海師の技法の趣旨を生かして演技するための理想的な動作を追及するという研究アプローチを採用した。

なお、以下に紹介する手順は形式的に、「1, 1, 2, 1」という流れになっている。あたかも音楽のソナタ形式に似ている。

- ① 1. 提示部      コーンの役割紹介
- ② 1'. 展開部      コインの消滅
- ③ 2. 再現部      コインの再出現
- ④ 1''. 終曲部      コインの再消滅とお土産のプレゼント

<効果>

奉書紙です



よくお菓子をのせます



折って底を作り



二銭銅貨を入れます



中を見ると確かに…では二銭銅貨を入れ…お呪いをかけます

すると不思議！…



銅貨が消え…

どこにもありません

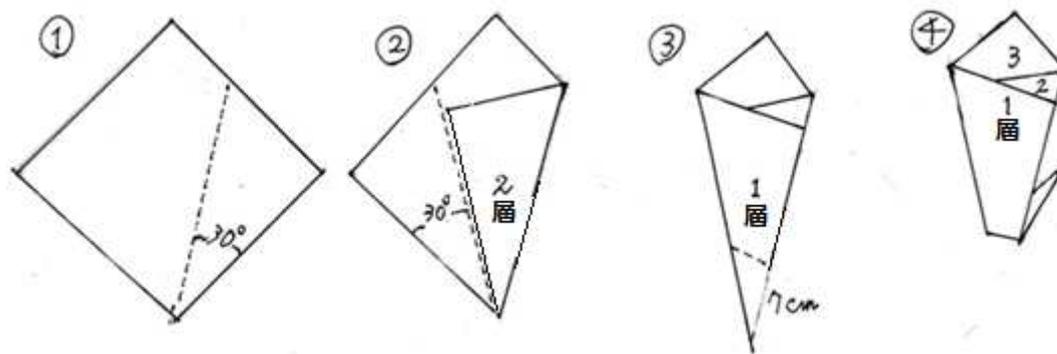
でも紙を畳んでお呪いを…銅貨が再登場します



銅貨を再び入れて…お呪いをかけると …再び消えます お土産の飴を入れましょう。

＜要具＞ 紙のコーンの材料には白い和紙（21×21 cmの正方形に裁断したもの）が理想的である。ただし、代わりに A4 の上質紙を 21×21 cmに裁断して用いてもさしつかえない。コインは日本の明治時代に使われた二銭銅貨が適当と考えた。なお、サイズはやや小さ目だが、真ん中に四角い穴があいた寛永通宝のような古銭を用いるのも効果的と考えられる。なお、演出のため最後のお土産にふさわしい品を用意したい。包まれた飴が衛生的で好ましいだろう。

＜準備＞ 一枚の紙を第1図~第4図のように折る。折る回数はたった3回である。折り目がついたら、再び平らに広げておく。



術者の上着左ポケットに飴を適量用意する。なお、テーブルにお皿を用意し、コインをそれに乗せておく。

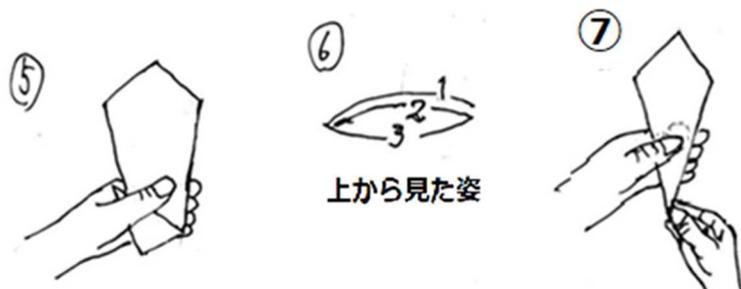
＜方法＞

—第一部—

1. テーブルから用紙を取りあげて示し、二回折りのところまで折って見せて「ここに奉書紙がありますが、これはこのように折り畳んでお皿のようにして、お茶請けを乗せてお客様にお出しするのによく使います。」と言う。

2. 次に下を折り、それを左手に持ち「下を折るとコップのようになりますので、お酒のみが日本酒を入れて生で飲みたいと考えるかもしれませんが、これは液体を入れると下に漏れてしまうと思います。入れるのなら金平糖のようなものなら大丈夫でしょう。」と説明する。(第5図)

3. 上から覗き見すると紙が1, 2, 3と三層になっているが、2と3の間が入れ物になっている。(第6図) このとき、自然に2層と3層の間が開いていると都合がよいが、そうでないときは右手の指で2と3の間を広げても差し支えない。



4. ここで、右手でコインを取りあげて観客によく示し、「ここに今から100年以上前に流通していた二銭銅貨があります。それでは試しにこれを紙の中に入れてみましょう。」と言い、それをコーンの中に落とす。それは上記の2と3の層の間に収まるようにコントロー

ルする。

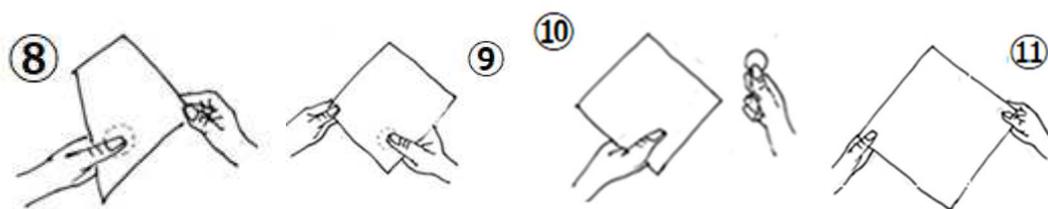
5. 「こうすると下を折ったことによって底ができていますから、コインが安定して止まります。そこに気がついた人は偉いですね。」と言う。

6. さらに「それでは、このときコインがどのように収まっているかをご覧に入れましょう。」と言う。

7. 左手の拇指と中指でコインをコーンの外からおさえておいて、右手で一番下の折った底の部分を伸ばしてみせる。(第7図)

8. 次に、右手でコーンを持ち、左手の食指を1の層の下に差し込む。

9. そして、コーンとコインを左手で保持するようにして、右手で1の層を右に広げる。コインは2の層の下にあるので観客からはまだ見えない。(第8図)



10. コーンを持つ役割を右手に変えて、今度は左手で2の層を広げる。

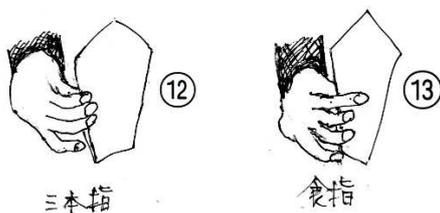
11. すると中央に位置するコイン(右手が押さえている)が観客に見えるようになる。(第9図)

12. 左手で紙とコインを支えたまま、右手でそのコインを取り、観客によく見せる。(第10図)

13. そして、それを一旦お皿に戻す。

14. 両手で紙を持ち、紙の裏表を良く見せる。(第11図)

以上が第一部、ソナタの1の提示部であるが、実はここまでは予備動作である。なお、ここまでの動作では原則コインは拇指と中指で保持されるが、そのとき食指と薬指を中指に添えておくのがよい。(第12図)



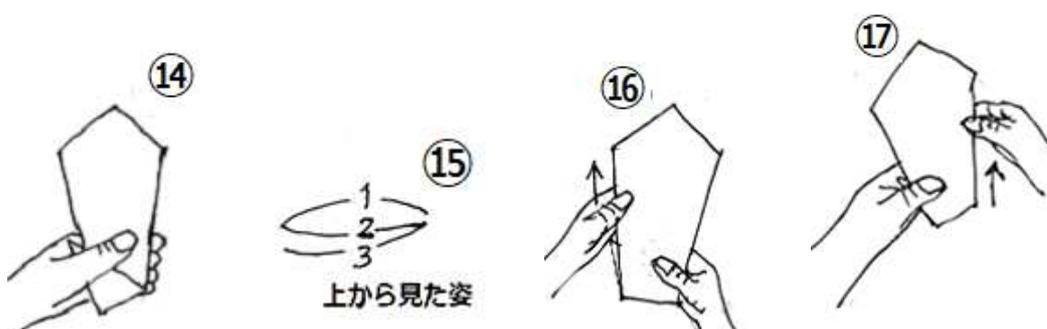
## —第二部—

15. ここから以上とほぼ同じに見える動作を再度実行するが、今度はコインが忽然と消えてしまう。そこがソナタの1'の展開部ということになる。その過程を以下で詳細に記述しよう。なお、ここではコーンやコインを保持するときに使う指は原則、拇指と食指だけにして、中指、薬指、小指は伸ばしておくことが望ましい。(第13図)これが隠しているコインがないように見える錯覚を強化する役割を果たすからである。

16. 紙を所定の折り方で折り、できあがったコーンを左手で持つ。(第14図)

17. このとき、左手の食指を曲げてコーンの真ん中あたりを手前に押すようにすると、コーンが自然に広がるが、そこで指を緩めると1の層と2の層から離れるようになる。次に右手でコインを取りあげて観客に示し、それをコーンの中に落とすのであるが、ここでは、3層のうち1と2の層の間にコインを落とす作戦をとる。(第15図)

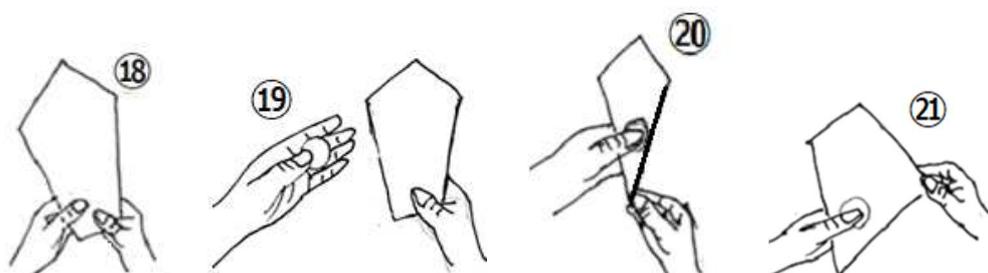
18. すると、コインは折り曲げた底に落ち着く。ただし、このときコインが留まるのはコーンの中ではないので第一回よりは安定性が悪い。勢いコインが外にはみ出す危険がある。そこでコインがコーンに収まるようにその位置をコントロールする必要がある。そのためにはコーンをやや右に傾けるのが有効である。



19. 次にコーンを右手で保持し、左手でコーンの左側を下から上に向ってしごく。(第16図) そうしたら、コーンを左手で持ち、コーンの右側が垂直になるようにしておいて、右手でコーンの右側を下から上に向ってしごく。このときコーンの左側が左に傾斜するので、この動作によりコインは自動的に左手の方に転がり出て来る。それを左手はフィンガーパームに保持する。(第17図)

20. 最後に右手でコーンの底の部分をしっかりさせる動作を行う。(第18図)

21. コーンを左手に持ち、「ではよくご覧ください。」と言い、右手でパチンと指を鳴らし「ワン、ツー、スリー！」と唱える。



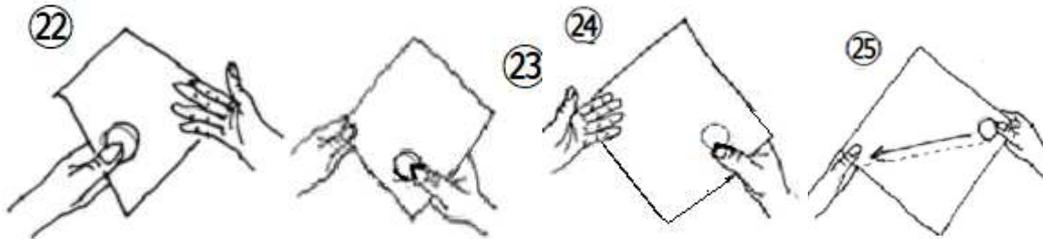
22. そうしたら、コーンを一旦右手に取って示す。(第19図) 次に、コーンを再び左手に戻すが、このときコインがコーンの手前に来るように仕向ける必要がある。そのためのコツは第19図の場面で、左手拇指でコインの左端を掌の方に押しつけることである。その動作によりコインの右側と左手の指との間に隙間ができる。そこでその隙間に右手のコーンを差し込むようにすればこの動作がスムーズにできる。

23. 右手で底の折り曲げたところを伸ばす動作を行う。(第20図)

24. コーンとコインを右手で保持し、左手でコーンの左側の割れ目に指を差し込み、ただちに、コーンとコインを左手に委ねて、右手で1の層を右に広げる。(第21図)

25. 右手を広げ、その四指の爪で紙の右角を手前から向こうに叩くようにして紙を伸ばす風を装う。(第22図)

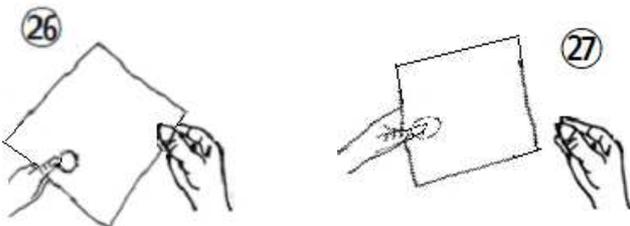
26. 次に左手拇指が確保していたコインを右手拇指に委ねる。いわば、コーンの裏でコインを密かに左手から右手にパスする作戦である。(第23図)



27. ここまで来たら、左手で2の層を左に広げる。ここで観客は初めてコインが消滅したと感ずる。そこで、左手四指の爪で紙の左角を叩く動作をする。(第24図)

28. ここで両手に紙を持って広げた状態をよく見せる。この動作のタイミングで紙の裏にあるコインを右手から左手にパスする。そのコツであるが、両手で紙を曲げてコインが通る道并确保し、その溝に沿ってコインが転がるように仕向ける。(第25図)

29. その結果、コインは左拇指で保持される。(第26図) コインと紙を左手で持ち、右手を放し、「コインが消えてしまいました。」と言う。(第27図)



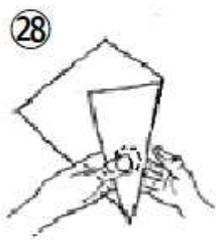
### —第三部—

30. ここからは消えたコインを再登場させる場面であるが、それがソナタの2の変奏部にあたる。

31. 紙の折れ目に沿って、右2/3の部分に向こう側に折りこむ。(第28図)

32. そして折れ目を右手で持ち、左手で紙を持ち直しつつその拇指でコインを操作してそれを紙の折れ目に押し込んでしまい、それを右拇指で保持する。(第29図)

33. コインが完全に折り目の中に隠れて見えなくなったことを確認したら、両手を下げて、紙の手前だった面を観客によく見えるようにして、右手でコインを押しえたまま、左手で左側1/3を右に折る。(第30図) この動作でコインはコーンの中に完全に収まる。

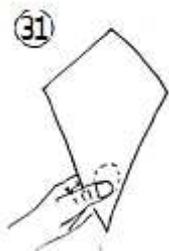


34. コーンを再び垂直にして左右に裏返す。(第31図)

35. コーンの下を折り返して底を作る。(第32図)

36. 「それでは消えたコインを復元いたしましょう。」と言い、「ワン、ツー、スリー！」と唱えつつ右手で指を鳴らす。

37. コーンを右手に持ち、左手でお皿を取りあげ、コーンの口が観客の方を向くように構えて、右拇指の握りを緩めると、コインが中から滑りでてきて、お皿にチャリンと落ちる。これを見て観客はコインが再登場したことを知る。(第33図)



#### —第四部—

38. いよいよソナタの1'の終曲部であるが、ここで観客にお土産を用意し、演技のクライマックスとするが、同時にコインは再び跡形もなく消えてしまったという余韻を残す作戦である。「それでは最後に、お客様にお土産を用意したいと思います。」と言う。ここからの動作については新たな解説は要らない。というのは、行う動作が16項から19項までの繰り返しだからである。

39. 第19項のところまで来たら、コーンを左手に持ち、「お土産を入れるのにコインは邪魔ですから、コインは消してしましましょう。」といい、右手で指を鳴らし、「ワン、ツー、スリー！」と唱える。

40. コーンを右手で持ち、コインを隠し持っている左手の指を使ってコーンの口を広げておき、右手でコーンの中が観客に見えるようにする。そうしたら、左手を上着の左ポケットに入れる。そして、コインをそこに残して、その手で用意してあった飴を少量取り出してきて、掌を上に向けてそれを観客に示してみせる。それからそれを右手のコーンの中に入れる。

41. そして、もう一度左手を左ポケットに入れて飴を持てるだけ持って来て、それをコーンに加える。入りきれないときは、余りをテーブルに置く。

42. 「それではお客様の代表として一番前のお客様にこのお土産をプレゼントいたします。」

中身は周りの席の方々にお配りになって結構ですが、紙のコーンをご自分でお持ち帰りください。おうちで上手におまじないをかけると二銭銅貨が出て来るかもしれませんので、それをどうか大切にしてください。」といい最前列の適当な観客に餡の入ったコーンをそのまま手渡す。舞台の立ち位置に戻ったら正面に一礼して演技を終える。

注記： 天海師はコインを消して、それを再現する小品奇術としてこれをよく演じておられたが、名古屋で師からそれを習われたことのある大矢定義氏はこれを活用してアルミ製の灰皿コインが貫通する芸に仕上げられておられる。一口でいうと、消滅させたコインと同じコインを灰皿の底にワックスで貼っておくという作戦を用いる。コーンでコインを消したらそのコーンを灰皿に置いて火をつけて燃やしてしまうと、その熱でワックスが溶けて、コインが下のグラスにチャリンと落ちるとい現象に仕上げられておられる。天海師自身がそのような演出をされたかどうかは定かでないが、コーンでコインを消した後に、ライターを取り出してコーンに火をつけて燃やしてしまうという演出はしばしばやっておられた。この場合はパームしたコインを、ライターを取り出すときポケットに処分する作戦であった。

ちなみに円錐を英語でコーンと呼んでいるが、コーンというそれは“corn”（トウモロコシ）に聞こえる。円錐は“cone”であり、「コウン」と発音してそれを区別するのが好ましい。ポップコーンをこの容器に入れると「Corns in the Cone」ということになるが、上記の演技で餡の代わりにポップコーンを使うのはよくないと気づいた。口に入れるものを裸でポケットに入れるのはエチケット違反だからである。したがって金平糖やドロップも同じ理由で失格となった。